

April

令和3年4月10日

学びの広場

京都市教育委員会 教員養成支援室

第15期

「京都教師塾」

京都教師塾通信
No.11



第6回教育実践特別公開講座

「これからの学校教育～新学習指導要領の方向性～」

講師;学校指導課 島本 由紀 参与

最後の公開講座は、学校指導課の島本参与のご講義でした。教員を志す私たちは、何を旨として教育していかねばならないのか、そして今の子どもたちがこれから生きる社会はどのような社会なのか…特に「子どもの貧困」が7人に1人の割合だということは大きな衝撃だったのではないのでしょうか。どんどん進むIT技術、これからの社会と学力観（にもかかわらず現状はどうか）、社会に開かれた教育課程（とは言え学校教育と社会がかい離していないか）等、幅広い視野でお話ししてくださったので、これからの教育について非常に考えさせられましたね。

新学習指導要領の方向性も分かりやすくお話しくささいました。また、単元・題材をまとまりでとらえ、どの場面で「主体的・対話的で深い学び」を取り入れるかを考えること、子どもに教えるのではなく考えさせる授業のヒント、そもそも教員が授業づくりを楽しむこと等、授業実践講座に生かせそうな授業改善のコツもお話の中にあっったと思います。

今年度の教育実践特別公開講座はこれで終了となりますが、一般参加もできますので、来年度もぜひ受講してみてください。



第10回京都市教育学講座

「市民・地域とともに進める京都の教育改革～信頼される教員～」

講師;京都教師塾 中永 健史 塾長

京都市教育学講座の総まとめとして、京都教師塾 中永塾長にご講義いただきました。皆さんは改めて今、どのような先生になりたいかをイメージしつつ、入塾願書の「自己PR・教員の志望理由」に、どのような内容を加筆するのでしょうか。

講義では、「教員を目指す人に求められるもの」「今、学校に求められるもの」「京都市の教育について」を主にお話しくささいました。第9回までの京都市教育学講座、および全6回の教育実践特別公開講座の内容と関連させてお話ししてくださったので、これまでの京都教師塾での学びを自分なりに振り返ることができたと思います。先生という仕事の素晴らしさや教員になってから念頭においてほしい言葉も心に残ったことでしょう。

分散会では、「京都教師塾での学びを通して、どのような教師になりたいですか？」をテーマにZoomで話し合いました。今、皆さんの目指す教師像はどのように変わったでしょうか。グループアドバイザーの先生方からは、「顔なじみになってきたこともあり、温かい雰囲気できれやかに話合いが進んでいた」「グループでの話合いの質が高くなってきた」等、成長した皆さんのことを教えてくださいました。レポート担当の先生方からいただいた毎回のコメントも、ぜひ今後の教育実習や教員採用試験に役立ててもらえたらと思います。本当によく頑張りましたね。これからも、感謝の気持ちを忘れることなく、謙虚に、学び続けていってください。



この講座で学んだことは、学び続けることと幅広い視点から考えることである。なぜなら、教員は多様な生徒に出会い、その時々に応じて様々なことを考える必要があるからである。講義を聞き、生徒の姿やその時の状態に応じて子どもたちから学ぶことを大切にしたいと思った。

また、今回、京都市教育学講座は最後であったが、全体を通して理想とした教師像は2つある。1つは、生徒に真摯に向き合う教師である。私は、学習支援ボランティアをしており、様々な困りを抱えた子どもたちに勉強を教えることにより、彼らの手助けをする機会がある。そこでは、ただ勉強を教えるのではなく、いかに教えたなら子どもに分かりやすく説明できるか、いかに一人の子どもに向き合うことができるかという点について考えさせられ、教師塾で学習したことと共通点があると思った。したがって、学校現場で困っている生徒にも耳を傾け、困りを解決するために支援していきたい。2つ目は、多様性を認める教師である。「人と違うことは当たり前」という言葉をよく耳にするが、実際に受け入れ、認めることは現実も難しい時がある。したがって、多様性を生徒に認めさせるだけではなく、自分自身も話を真剣に聴きながら、相手の意見を取り入れられるようにしたい。また他者から得た助言をもとに知識を増やし、より多くの生徒の価値観を受容できるよう努力したい。

これから先教師になったら、生徒たちの違いを認め、生徒への愛情を持って接し、傾聴することが必要になる。10回の講義は非常に有意義なものであり、10回の中で学習したことを大切に、将来に活かしたいと思う。

最終回は京都の教育の真髄を確認し、教員を目指す人に求められる責任感と自覚、そして謙虚に学び続ける姿勢が重要であるという内容でした。高校教員を目指す〇〇さんにとっては、これから教科の専門性を磨いたり、生徒に向き合う術を身に付けたりと、悩み挑戦することが続くと思いますが、学校現場では同僚も先輩も支えてくれるはずですよ。ぜひ、子どもの夢をかなえてあげられる先生になってくださいね。

第10回 Zoom 分散会の様子

これで京都市教育学講座が全て終了しました。
グループアドバイザーの先生方に、大変お世話になりました。

